

平成24年度に実施したパブリックコメントの結果

	案件名	実施期間	意見	実施結果
11	名寄市新エネルギー・省エネルギービジョン（案）	平成24年12月20日 ～平成25年1月21日	1人 (3件)	総務部 企画課
12	第2次名寄市食育推進計画（案）	平成25年1月7日 ～2月8日	2人 (4件)	経済部 農務課
13	第2次名寄市社会教育中期計画（案）	平成25年1月23日 ～2月22日	2人 (3件)	教育部 生涯学習課
14	名寄市暴力団排除条例（案）	平成25年2月1日 ～3月4日	0人 (0件)	市民部 環境生活課
15	名寄市健康増進計画「健康なよろ21(第2次)」(案)	平成25年2月4日 ～3月5日	3人 (4件)	健康福祉部 保健センター
16	一般廃棄物処理広域化基本計画（案）	平成25年2月15日 ～3月18日	0人 (0件)	市民部 環境生活課



ご意見をお寄せいただきありがとうございました  
**名寄市パブリック・コメント実施結果をお知らせします**

※詳細につきましては、市ホームページ〔パブリック・コメント〕または市情報公開コーナー（名寄庁舎・風連庁舎・智恵文支所）で閲覧できます。ご利用ください。

●主な意見内容と市の考え方

名寄市新エネルギー・省エネルギービジョン（案）

【ご意見の概要】

地球温暖化の進行が急進している中で、再生エネルギー・自然エネルギーには、現状の経済性・技術の範囲での考察では解決できないと思われる。現状を打破する技術の開発、そのための発想と投資が必要ではないか。

●意見に対する市の考え方

再生可能エネルギーや革新的な技術の開発には多額の経費と高度な研究技術を要することから、自治体レベルでの取組は困難であり、国および民間が開発した技術の有効活用などについて検討してまいりたいと考えます。



第2次名寄市食育推進計画（案）

【ご意見の概要】

第1次計画から第2次計画への変化および『周知』から『実践』へとテーマが変わったことに対しての詳しい説明を求めます。

●意見に対する市の考え方

第1次計画の5力年で「食育」や「地産地消」という言葉は、各団体の協力により市民に浸透してきました。しかし、意義や重要性を認識しつつも普段の生活では実践が困難なものです。第2次計画では、「気づいて学び行動する」という観点に立ち、体験の場を多く設定するなど、実践へと結び付ける行動の中から、食育の推進を図っていくこととしました。

こうした経過から『周知』から『実践』へとテーマを設定しました。よりわかりやすい表現とするため加筆・修正します。

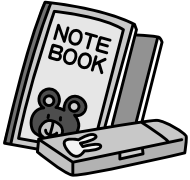
【1】意見の概要】

主要施策の項目に「家庭教育の推進」とあるが、「家庭教育の『支援』の推進」の方がよいのでは。

●意見に対する市の考え方

本社会教育中期計画は、市総合計画を上位の計画としており、市総合計画では「家庭教育の推進」としています。

第1次社会教育中期計画では、「家庭教育支援の推進」としていましたが、今回の策定委員会において『支援』について議論され、『支援』では後押しにとどまる意味で終わることから、具体的に推進を図るものとして、主要施策の項目にはあえて『支援』という文言を削除しました。



【1】意見の概要】

団体として健康問題に踏み込んだ教室や学習会などの取り組みをしてきているが、「健康なよる21(第2次)」の取り組みではどのように検証していくか。

●意見に対する市の考え方

第2次計画(案)には、生活習慣病の発症予防や重症化予防の効果を検証できるように、国の指針に基づき、数字で評価できるものを名寄市の目標数値として設定し、検証を行っていきたいと考えています。



【1】意見の概要】

学校にはさまざまな体質の子どもがいる。一律に薬剤を利用したむし歯予防を行う事は、子どもたちのアレルギーなど体調面に不安がある。また、劇物指定の試薬の使用は、安全性に疑問があり、反対の意見や情報が保護者に届いていない。

今後、さらに市や学校が十分な話し合いをすることが必要で、フッ化物洗口をこの計画に搭載するのは反対である。

●意見に対する市の考え方

フッ化物洗口は、WHO(世界保健機関)はじめ世界の150を超える医学・歯学・保健専門機関により、「適切に行われるフッ化物のむし歯予防方法は、安全でもっとも有効な公衆衛生的方策である」と合意されています。

これまで、フッ化物洗口、フッ素塗布やフッ化物配合歯みがき剤に含まれるフッ化物物そのもので、アレルギー反応を生じたという信頼に足る報告はありません。フッ化物は量の多少はあれ、あらゆる飲食物に含まれていて、もし、仮にフッ化物でアレルギー反応を起こす人がいるとすれば、過去に緑茶、魚、肉、野菜、果物などの飲食物を摂取した際にアレルギー反応が起こっているものも不思議はありません。

平成24年度から、名寄南小学校と東風連小学校でフッ化物洗口を実施していますが、事前に教職員説明会、保護者説明会を開催し、実施の際は、保護者への希望調査も行っています。

今後残り8校の小学校の実施にあたっては、十分な説明を行い、子どもたちが平等に健康な歯・口腔づくりができるよう進めていきますので、ご理解をお願いします。